



関西国際空港地震津波避難訓練について

地震津波発生時の訓練を、下記のとおり実施します。今回の訓練は、11月5日(津波防災の日)に合わせ、関西空港島全域において地震津波発生時の情報周知、避難等の初動対応の訓練を実施するものです。

記

- 実施日時 2014年11月5日(水) 15:30~16:30
- 実施場所 空港島全域
(第1ターミナルビル、エアプラザ、鉄道駅、展望ホール、国際貨物地区等)
- 実施体制
主 催 関西国際空港地震津波対策連絡協議会
- 目 的
関西国際空港において、島内の従業員の防災意識の向上を図り、地震・津波発生時の対応に関して共通意識を持って、避難行動を実践できるよう、空港島全域を対象とした地震訓練・津波訓練を実施し、津波避難計画の検証を行う。
- 参加人数
約180社 機関 (地震訓練) 約 2,500名
(津波訓練) 約 450名
- 訓練想定
緊急地震速報の受信により非常放送が流れ、事業者(従業員)等は周囲に対し注意喚起を行うとともに、自身の安全行動を行い地震に備える。その後、震度6弱の地震が発生し、約30秒間の揺れが継続する。地震発生後、気象庁からの津波警報発表に対し津波避難計画を発動する。津波からの避難を促す情報を様々な連絡手段を用いて周知するとともに、事業者(従業員)等は津波避難、誘導を実施する。
- 訓練内容
 - ・ 非常時情報の放送訓練 ⇒ 緊急地震速報、安全確保、津波避難の放送周知
 - ・ 地震訓練 ⇒ 地震発生に備えた安全行動の実施
 - ・ 津波避難周知訓練 ⇒ 緊急車両等による避難広報等、各種伝達手段による津波避難周知
各事業者による従業員への情報伝達
 - ・ 津波避難誘導訓練 ⇒ 津波避難場所への避難、状況報告

